

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 民生博愛会

ふれあいサロン すまいる

## 1. 総括

コロナ禍の制限の中、なかなか事業の開催が難しく、年間90回の開催を予定しておりましたが、なんとか98回の開催をすることができました。また、参加者は1回開催平均6.1名（前年度比+0.4名）と、徐々に増えてきました。

次年度も感染症対策を十分に行いつつ、参加者が楽しんでいただけるような企画を立案して行うのと新規の利用者獲得を目指し、北斗市総合事業の役割を果たします。

### ～重点目標（令和3年度）～

#### ① 活動周知活動の取り組み

コロナ禍の中、思うような宣伝活動もできませんでしたが、気軽に参加していただける企画は掲示板で周知しました。また地域の啓発活動の一環として始めた「地域交流スペースどんどり」も継続して設置しています。次年度も事業の周知活動を行いつつ、様々な企画を用意して新規利用者を募ります。

#### ② 利用促進

今まで楽しんでいただいたプログラムや新しく企画した行事も定着しつつあります。今後も継続的に利用していただけるよう、参加者の意見を聞きながら、ニーズに合ったものを企画します。

#### ③ 感染予防対策

「北海道スタイル」のポスターを掲示し、それに従って活動を行いました。感染源となる事もなく、開催する事ができました。次年度も継続していきます。

#### ④ 相談・援助

介護支援専門員が常駐していることで、様々な相談に対応しました。また、包括支援センターと連携も取れています。次年度も継続いたします。

#### ⑤ ボランティアの育成

北斗市社会福祉協議会のボランティアセンターからの紹介で、新たに来てくださる方も増え、月1回のペースで創作活動をしてくださっています。このような方が増えると、本来のボランティア主導で行うという活動に近づきますので、今後も継続して募集と育成を行いたいと思います。次年度以降も大きな課題となります。